

ミドリ



公益財団法人
かながわトラストみどり財団

公園でカモをスケッチする

よこはまの田園風景を次の世代に残していきたい



1985年に発足以来、神奈川のみどりの保全と創造に関する様々な活動を展開しています。1万人を超える会員の支援や募金寄附、ボランティアの皆様の協力を受け、今ある自然環境を次の世代に引き継いでいけるよう取り組んでいます。

☎ 045-412-2525
✉ midori@ktm.or.jp
@kanagawa_midori
facebook.com/ktm.or.jp
kanagawa_trust

CONTENTS もくじ

自然へ一歩

公園でカモをスケッチする

絵本作家、イラストレーター 東郷 なりさ

1

よこはまの田園風景を 次の世代に残していきたい

特定非営利活動法人 Dream eggs ゆめたま
相川健志

4

県内各地で発生する ナラ枯れについて

神奈川県環境農政局緑政部水源環境保全課

8

事業報告

トラスト緑地保全支援事業の 活動報告

小網代の森、久田、桜ヶ丘、葛葉

11

カメラを手に

パワースポット・癒やしスポットへ
西平畑公園、寄ロウバイ園、寄大畑茶園

12

令和2年度

緑化運動・育樹運動コンクール

14

財団主催イベントについて

自然観察・体験イベント・森林ボランティア

15

事務局だより

感謝状を贈呈

かなユリ・チャレンジ活動報告
やどりきの森へ行こう！募集中
お便り紹介

16

会員の皆さまへ

※転居先不明で返送されるケースが増えてます。
住所などの変更がありましたらご連絡ください。

※機関誌「ミドリ」は財団公式WEBサイト
(http://ktm.or.jp)で読むことができます。
個別の発送停止をご希望の方は財団事務局まで
ご連絡ください。

表紙の写真



カワヅザクラとメジロ

癒やしスポット西平畑公園を紹介

記事▶P12へ

田んぼ活動の子どもたち

横浜市泉区の田んぼで活動している

市民団体を紹介

記事▶P4へ

会員数 & 寄附募金のお知らせ

トラスト会員を募集しています。

公式WEBサイトから申し込むか、
財団事務局にお気軽にお電話ください。

5年分の会費を1回でお払いいただくと
6年間会員になれます。

現在の会員数

(2020年9月末現在)

	普通会員	緑地保全 支援会員
個人会員	3,627人	405人
家族会員	6,188人	684人
法人・団体会員	270人	26人
特別・名誉会員	315人	
計	10,400人	1,115人

トラスト会員 普通会員

個人	大人	2,000円
	中・高校生	1,000円
	小学生	500円
家族	1家族	3,000円
法人/団体	1口	10,000円

トラスト緑地保全支援会員 任意加入

トラスト会員 + オプション

支援したいトラスト緑地のいずれかを選択

個人/家族	3,000円
法人/団体	1口 10,000円

かながわトラストみどり基金への寄附状況

寄附累計額(2020年9月末現在)

14億3,783万4,078円

寄附者名(2020年7月～9月分まで) ※敬称略、アイウエオ順

イオンリテール株式会社南関東カンパニー、齋藤 友佳理、藤崎 英輔、マックスバリュ東海株式会社、山本 勝久、
吉田 徳之

トラスト募金

募金者名(2020年7月～9月) (敬称略)

地方職員共済組合神奈川支部組合員

「かながわトラストみどり財団」への寄附

財団へ寄附をいただきましたのでご紹介いたします。誠にありがとうございました。

寄附者名(2020年7月～9月) (敬称略)

アサヒ飲料販売株式会社、池谷 享子、池谷 善博、池田 陽一、大塚 敏、沖田 耕一、株式会社ヤマシゲ、北村 幸子、久保 智子、久保 幸子、小網代会館、小泉 一郎、五味 聖二、齊藤 吉之、和子、佐藤 三郎、柴崎 えつ子、清水 健二、清水 紀彦、菅野 実、鈴木 克守、田中 美佐枝、円谷 周平、中園 良信、日産プリンス神奈川販売労組 執行委員長 市橋 貴志、濱尾 光吉、原田 英之、藤田 禮子、藤田 正敬、古川 仁朗、松田 江利子、水澤 莞治、村山 愛子、山村 宣夫、山本 勝久、渡部 明

※掲載の承諾をいただいた皆さまをご紹介させていただいております。

公園でカモをスケッチする

絵と文：^{とうごう}東郷 なりさ



鳥を見に行くときは、スケッチブックと鉛筆を持っていき、観察しながら絵を描いています。

この日は新横浜公園の水際に望遠鏡を立てて座り込み、オオバンの群れや、渡ってきたばかりのコガモやヒドリガモなどを観察していました。肉眼で描ける距離でカルガモが採餌をはじめたのでそれをスケッチ。近くにオオタカがいたようで、水鳥が姿を消してしまったので、水辺のアシなどを描いていました。

どうして写真を撮って、後からそれを見て描かないのですか、とよく聞かれます。写真も必要であれば資料的に数枚は撮りますが、野外で描くのは動きや形をよく見て覚えたいからです。写真を撮ろうとすると、どうしても

シャッターを押す瞬間を見極めるのに忙しく、その鳥の頭や背中がどんな形をしているか、どう動かなどは観察していません。描こうと思って見るからこそ、そこに注意を払うようになるのです。後から完成画を描くときも、野外でスケッチした鳥は、手や目がその鳥の形を覚えているので上手く描けるように思います。

野外で引いた線は、写真的な正しさはなくても勢いがあり、動きを生き生きと捉えられていることがよくあります。そもそも、写真を写してそっくりに描くなら、写真のままで十分という気もしてきます。完璧な絵がかけなくても、スケッチブックに残った線は、その鳥の記憶を呼び覚ましてくれます。

線を描いてみよう

動かない植物に比べて、野外で鳥を描くのはもちろん難しいです。スケッチブックに4Bの鉛筆を用意し、とにかく見えた線を一本でも二本でも引いていくことから始めます。鳥が飛ぶまでが勝負なので、消しゴムは使わずに、失敗したときも鳥が動いてポーズを変えてしまったときも、隣にどんどん新しく描きはじめます。わたしも未だに上手く描けず、スケッチブックには画像のようにくちばしや頭のつもりだった線だけがたくさん残ります。でも一部分だけでもよく見て「こういう形だった」と分かれば、次はそこから積み上がっていきます。

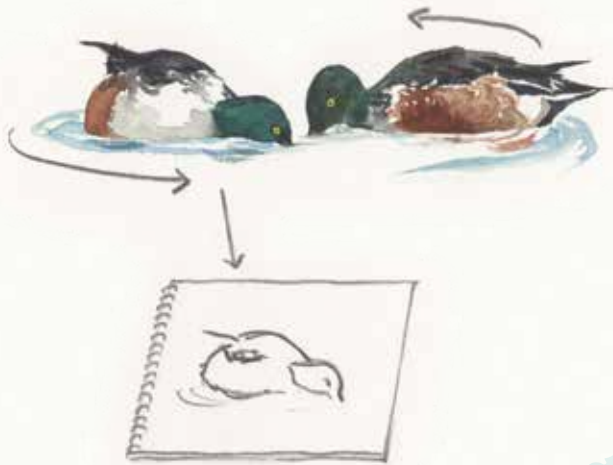


ハシビロガモとコガモのつमりの線

動く鳥を描くコツ

鳥は動くので、くちばしの先から足先まで、一気に細かくスケッチする時間はとれないかもしれません。細部にこだわらず、まずは大雑把に身体の形や翼の角度などを描いてしまうのがおすすめです。羽の模様などは、多少鳥が向きを変えたあとも、観察して確認し付け足せます。

同じポーズをするのを待って描き足して仕上げることもできます。群れなら別の個体と同じ向きを向いてくれるかもしれません。たとえば図のように、ハシビロガモが2羽でクルクルと周りながら採餌しているときなど、半周ごとに、鳥がほぼ同じポーズをしてくれます。このような時、あるポーズだけに集中してスケッチするとうまく描けます。



鳥をどうスケッチするか

ひと言に鳥をスケッチすると言っても、描くことを通して何を見たいか、何を残したいかによって、どう描くかがかわりそうです。博物学的にその日に見た鳥の羽色の状況を記録したければ、気になる部分のアップを細かい線で描いたり、矢印や言葉を書き入れたりするのも良さそうです。

芸術的にその日に見た鳥を描き残しておきたければ、目立つ模様の位置や形を大雑把に描いたり、影の入り方に注意をはらったりすると、雰囲気が出るかもしれません。

わたしが新横浜公園でやったように、一カ所に座り込み、視界に入ったものをどんどん同じページ描き足していくことで、自分が観察していた時間を凝縮した一枚を作ることができます。

スケッチの描き方に決まりはないので、自分が一番気になることを描けば良いと思います。



環境を描いておく

鳥がいなくなってしまうからでも、周りの環境を少し描いておくと後から見返したときに役立ちます。止まっていた木の枝や葉と鳥との大きさのバランスを描いておいたり、開けた場所の鳥なら背景を入れたりすると、スケッチにその場所の記憶も埋め込まれます。

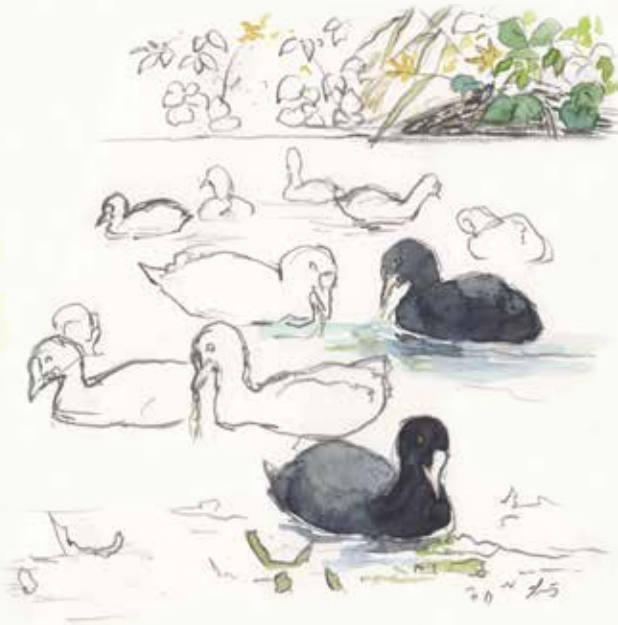


色をつける

野外で見た鳥や周りの風景の色をスケッチブックに再現しておいたら一番です。天候や環境によっても色の見え方は変わるので、その場の色は大切です。わたしも時間がないときなど、写真を撮っておいて後から色を付けることが多いですが、写真に写る色は実際の印象とちょっと違うと思うことも多々あります。

固形でパレット状になった水彩絵の具は、持って行く色数が少なくても、混ぜていろいろな色を作れる利点がありますが、色鉛筆なども手軽で良いかもしれません。

せっかく現物を目の前にして色を付けるならば、スケッチした線の内側をただ「塗り絵」するのではなく、色を使って描くと良いと思います。水彩ならば水の雰囲気や鉛筆などより上手く描けます。背景に見えるセイタカアワダチソウなどを、色を置く程度にでも描いておくと、雰囲気がでます。



スケッチの道具

写真はわたしが日常的に使っている道具です。観察には、両手が自由になる望遠鏡を使っています。ペン、ボールペン、色鉛筆、クレヨンなど、何でも試してみて自分に合ったものを選ぶのが一番です。濃い線がスムーズに描ける筆記用具からはじめると良いかもしれません。紙もまずは小さいノートで十分です。シートの場合はクリップで四方を止めるなど風でめくれない工夫が必要です。



文庫本サイズ、14センチの正方形のノート、4Bの鉛筆、顔彩パレットと筆、水入れ、鉛筆削り。

プロフィール



とう ごう
東郷 なりさ

絵本作家、イラストレーター。
著書に「さくらがさくと」(福音館書店)など。





田植え体験6月

よこはまの 田園風景を 次の世代に 残していきたい



初対面でも仲良くなれる。子どもは何でも遊びにする

特定非営利活動法人 Dream eggs ゆめたま あいかわ たけし 相川健志

横浜市泉区を拠点に活動し、地域密着を心掛ける市民団体を紹介します。

主たる活動は生きもの観察会や農業体験などを行っています。代表の相川氏は泉区で生まれ育ち、生きもの好きが高じて、専門の大学、そして地べた主義を貫くために法人を立ち上げ、地元
に根差した活動を展開されています。

そんな相川氏に活動内容やこれからの活動についてお話を伺いに行きました。

この取材時期の11月には、稲刈りで盛大なイベントを企画するはずでしたが、コロナ禍による
自粛により、作業のみできる参加者が集い、稲を刈り、天日乾燥するために“はざかけ”するところ
に伺いました。



取材時(11月)の田んぼ

この田んぼでは農薬を使わず昔ながらの方法で、もち米を育てています。“はざかけ”は刈りとった稲を束にして、それを横に渡した干し台にかけて天日乾燥させるやり方です。

また、ここでは特別にもうひと手間かけて、束にする前に不用なワラを除去するなど、整えてから束にしています。この手間をかけることで乾燥させるスペースも減りますし、無農薬ワラとして引き取り手も多く、きれいな状態で提供できます。

我々の田んぼは横浜市泉区にあり、西側に境川と泉川の合流地点にある県立境川遊水地公園、東側には天王森泉公園という緑に囲まれた場所にあります。

泉区はもともと戸塚区だったところで1986年に栄区と泉区に分かれました。名まえの『泉』区は湧水が多く出るために区の名となりました。この田んぼでも湧水が出ています。

活動を始めるきっかけ

私が幼少だったころ境川遊水地周辺にはまだ水田が広がっていました。よく祖母に連れられ、夏にはカエルの大合唱を聞き、秋には稲穂の上をたくさんのトンボが飛び交い、イナゴ捕りにいそしむ中で、カエルやヘビ、サワガニ採りに夢中になった日々を思い出します。そんな環境で育ってきた私は、必然的に自然系の大学で学ぶようになりました。

ある時、そんな自分の育った田んぼの風景がどんどん変わってきていることに気づきました。田んぼから畑への転換、後継者不足による耕作放棄、開発による宅地化などによりどんどん昔あった田園風景が失われてきてしまったのです。

田んぼなどの水辺が消え、カエルの声が聴こえなくなり、野山が切り崩されて大きなアスファルト舗装の道路が通り、時より車にひかれて命を落としたタヌキの亡骸を目にするようになりました。そのような環境の変化を地元にながら肌で感じとっていましたので、ふつふつと生まれ育った地域の自然環境を守っていきたいと思うようになりました。

個人での活動の限界と 法人の立ち上げ

大学卒業後、自然環境に関連した会社で経験を重ねつつ、どうしたら地域での活動が回るかと模索していました。そんな相談を学生時代に卒論でお世話になった研究者にすると、「特定非営利活動法人がいいんじゃないか」と助言をいただき、すぐにそれだと決断しました。

2010年4月に「特定非営利活動法人Dream eggs ゆめたま」を発足。今残っている豊かな自然や生態系を次の世代に残していくことを目的として、体験型の企画による環境教育や保全活動、地域伝統文化の伝承活動を始めていくことにしました。“ゆめたま”は夢の卵という意味で付けました。誰もが持っている夢の卵、どんな夢が育つか一緒に探し育てていける法人にしていきたいと命名したものです。

法人設立までにホテルの保全活動や環境教育、河川の魚類相調査、保全活動等を行った経験を生かし、



インターンシップ1期生(2014年)
社会人になった今も活動を気にかけてくれます

実際の自然再生はもちろん、近所のビオトープづくりを手伝うほか、自然観察会も行っています。

併せて端午の節句に揚げる相模風の文化継承も行っていましたが、泉区の相模風は400年の歴史があると伝えられていましたが、立ち消えしそうな中で平成22年から再始動させました。田園風景が残るこの地で空高く舞う相模風は圧巻でした。

コツコツと地道に続ける

もちろんメインは水田づくりにあります。2012年に横浜市から40年以上放置された畑を田んぼへ復元事業への参加に声かけがあり、経験もあまりない状態での開墾から始まりました。その年は水田への復旧、稲作、生き物観察会を行いました。この事業は1年で終了し、翌年以降もこの田んぼを使用できるものと思っていたものの、使用できなくなってしまいました。

思い入れのあった水田を見つつ困り果てていると、見守ってくれていた地元の農家の方が見兼ねて、『援農』というかたちで現在の田んぼを使わせてくれるようになったのです。

約千㎡の田んぼですが、脇に水が湧いており、農業機械を入れることが困難なところですが、人が集い、いきものが集う場所なら逆に好都合と手を入れ始めました。

農業の視点では単なる米づくりの場ですが、生き

ものたちにとってはとても重要な場所でした。冬になっても干されない水辺があり、土を起こすとドジョウやアメリカザリガニ、越冬中のトウキョウダルマガエルなどいろいろな生きものが生息していました。

人材の高齢化、人材不足

どこの団体も新規人材の確保は共通の課題となっています。

どうやって、人材を確保し活動を継続していくのか。私の団体では他団体との交流により人材確保の機会を得ています。

最初のつながりも近所の境川遊水地公園のイベントへの参加でした。そこで知り合った母校(日本大学生物資源科学部)の生物系サークルの学生が活動に参加してくれるようになりました。またインターン

シップやボランティアの受け入れも始まりました。

イベントでは知り合った当時小学4年生(母校横浜市立下和泉小学校)だった子は高校卒業後の現在もボランティアとして参加してくれています。



いすの葉で日傘 ひとつひとつで変顔

さらに地元における他業種との相互協力も必要不可欠です。戸塚区にある谷矢部池公園を拠点に活動される「特定非営利活動法人ぷらっと」や、泉区中田にある教育や子育てなどの支援を行う「特定非営利活動法人総合教育サポート グレースファミリー」との事業連携も行っています。

イベントなども1団体で行うのではなく他団体と協力して開催することによって、人材面、資金面の負担を軽減させています。

運営資金の考え方

資金面も“助成金をあてにしない”という考え方で経営しています。これは助成金を使わないということではなく、依存しないということです。助成金だけに依存してしまうと、助成金がなくなった時にその活動も継続できなくなってしまうからです。

また助成金を得ることがいつの間にか事業の目的となってしまうことだって考えられます。

活動のねがい

活動には常に子どもたちの笑顔があります。泥まみれになって笑う子どもたちを見ていると、この活動をしていてよかったと感じます。また、その喜びを共感してくる仲間が集まり、手伝ってくれる人、支えてくれる人がいます。この活動を始めて11年たちました。



4年間ずっと参加してくれる子どもたちの写真(もちつきのチラシより)。子どもたちの成長がわかる

正直なところ特定非営利活動法人だけでは食べていけないので、環境コンサルタントを副業としてやってきました。

これまでにイベントに参加してくれていた子どもたちが成長していきます。インターンやボランティアに参加してくれていた学生たちも社会に出ています。

その中で彼らが自分たちの住んでいる地域のこういった活動に参加し、次世代の子どもたちに思いを繋げてくれることを願っています。



稲刈り(10月)稲を運ぶお手伝い

プロフィール



あいかわ たけし
相川 健志

日本大学生物資源科学部海洋資源科学科卒
特定非営利活動法人 Dream eggs ゆめたま
理事長

県内各地で発生するナラ枯れ被害について

神奈川県環境農政局緑政部水源環境保全課

はじめに

ナラ枯れとは、**カシノナガキクイムシ**（体長5mm程度の甲虫）（以下、カシナガといいます）が媒介する**ナラ菌**が樹木の中で水の通導を阻害し、コナラ・ミズナラ等のブナ科の樹木が**夏季に集団的に枯れる**現象です。遠目からは一見紅葉と見間違えるように、茶褐色に枯れた葉が目立ちます。

ナラ枯れ被害の特徴としては、

- 被害木の表面に、カシナガが穿入した1.5mm程度の穿孔が多数確認できる。
 - 多くの場合、穿孔は根元から高さ5m程度までの幹に生じる。
 - 根元にはフラス（カシナガが穴を掘った木くずや糞などの混ざったもの）が堆積する。
 - 樹齢が40～70年を超える大径木が被害を受けやすい（小径木が被害を受けないわけではない）。
- といったことがあげられます。

丹沢大山総合学術調査報告書の丹沢大山動植物目録（平成19年）によると、神奈川県においてカシナガの分布は確認されていませんでした。平成22年に隣接する静岡県で被害が発生したことを契機に、県内のカシナガの生息状況を把握するため平成25年からフェロモントラップを利用した生息状況調査を開始しました。平成27年まではこの調査による捕獲は確認されませんでした。平成28年に県内で初めてカシナガが捕獲されました。その後、平成29年に初めてナラ枯れ被害が確認されました。



フラスの様子

神奈川県におけるナラ枯れの被害状況

被害の発生を確認して以降の被害発生市町村数（県の全市町村数は33）、被害面積及び被害材積は、平成29年度が5市町、2.49ha、239m³、平成30年度が18市町、5.49ha、977m³、令和元年度が21市町、13.79ha、1,195m³と年々増加しています。今年度（令和2年度）については10月末時点の被害を集計中ですが、少なくとも31市町村で被害が確認されており、継続して増加の傾向にあると言えます。

本県においてナラ枯れの被害を受けるおそれのある樹種は、コナラ、ミズナラ、マテバシイ、スダジイ、ウバメガシ等です。

コナラは県内に広く分布しており、最も多くの被害が報告されています。市街地の公園等は幹線道路に面した立地も多いことから、カシナガの飛翔による分布拡大だけでなく、車両等に付着することでより大きく分布を拡大する恐れがあります。

ミズナラは丹沢山系や箱根山系の高標高域に分布しており、被害を受けると枯死しやすいと言われています。

マテバシイやウバメガシ等の常緑広葉樹は県南東部を中心に分布しています。これらはナラ枯れ被害を受けると枯死しやすいか否かの知見が少なく、部

分枯れやカシナガに穿入されても生き残る穿入生存木となる場合も見られます。

神奈川県におけるナラ枯れに係る対応状況

被害の情報収集については様々な方の協力が必要不可欠です。そこでナラ枯れ被害の情報提供を



ナラ枯れによく見られる特徴

- 7月～9月に葉が紅葉し枯れる（大径木に多い）



ミズナラ大径木の枯死（9月）

- 幹に直径 1.5mm～2.0mmの多くの孔がある



穿入孔の状況



穿孔するカシノナガキクイムシ

※類似のヨシブエナガキクイムシの穿入孔は 1.0mm

- 幹の根元に大量のフラス（木屑と虫の排泄物が混ざった粉状のもの）がたまっている



幹の根元に堆積したフラス

呼び掛けるためのリーフレットを県ホームページ (URL <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/pb5/cnt/f537128/index.html>) に掲載したり、森林に係るイベントの際に配布しています。

また、県の広報誌(県のたより令和2年9月号)に情報提供のお願いを掲載した際には、県民の皆さまから数多くの情報をお寄せいただきました。他にも市町村や森林組合等の担当者を対象としてナラ枯れについての知識を深め、防除技術を習得するための現地研修会を開催しました。

ナラ枯れ被害への対策としては国の補助金制度を活用し、市町村が行う対策事業に対して補助を行っています。事業の内容はナラ枯れ被害の拡大を防止するために被害木に穿入したカシナガ、ナラ菌を駆除する対策及び被害を防止する予防対策であり、県では主に駆除する対策を人的・物的被害の恐れがある箇所を優先して実施しています。駆除対策のうち「伐倒くん蒸」は被害木を伐倒して短く切って、薬剤が浸透しやすいように切れ込みを入れ集積します。そして、伐根とあわせて全体をシートで被覆密閉して、殺虫・殺菌剤でくん蒸処理します。「立木くん蒸」は立木のまま樹幹にドリルで注入孔を開けて殺虫・殺菌剤を注入します。

立地やアクセス手段や人的・物的被害の恐れの場合などを勘案して駆除の方法を選択していません。

今後の対応

平成29年に県内で初めてナラ枯れ被害が確認されてから3年が経過し、徐々に被害が拡大しています。そのため、県では今後の被害拡大に備え、守るべき樹木や森林を選定したうえで、住宅地周辺の被害木の処理の考え方や本県のカシナガの発生動向を踏まえた対処法などを盛り込んだ被害防除ガイドライン策定の作業を進めています。

また、国の研究機関や県内の関係者間との情報共有に加え、近隣都県と情報交換を行い、被害対策の推進に努めたいと考えています。

神奈川県環境農政局緑政部水源環境保全課

☎045-210-4355

カシノナガキクイムシって どんな虫ですか？

穿孔虫類に属するナガキクイムシ科の一種で、体長約5mmの黒褐色の甲虫です。

6月～9月頃に、樹木内から脱出した成虫が、集合フェロモンに誘引されて集中的に樹木内に穿入し、産卵します。孔道内の幼虫は酵母類を餌として成長し、越冬後に蛹化、羽化して新成虫となります。



カシノナガキクイムシ成虫 (左オス、右メス)

トラスト緑地保全支援事業の活動報告

小網代の森(三浦市)、久田(大和市)、桜ヶ丘(横浜市)、葛葉(秦野市)の活動状況を紹介

小網代の森緑地

(NPO法人小網代野外活動調整会議)

渡り蝶のアサギマダラが海へ出た気配の11月に植生調整のために笹原や外来植物のセイタカアワダチソウの除草などを実施しました。このほか、ニッコウキスゲのなかまのハマカンゾウの育成地整備など急ピッチで進めました。



桜ヶ丘緑地

(桜ヶ丘・水辺のある森再生プロジェクトの取組)

11月21日(土)の活動では稲刈り後の脱穀や、崩れた水源補修方法の確認、水路整備や除伐等の作業を実施しました。



水路補修



子どもたちは除去したシュロの葉の片づけに協力。実は秘密基地づくりの素材回収でもありました。

久田緑地 (久田緑地くらぶ)

毎月の活動で定期的に森のお手入れを行っています。針葉樹から広葉樹に植生再生している場所の下草刈りや管理通路の整備を行っています



葛葉緑地 (くずはの家・ボランティアグループ)

コロナ禍だからこそこのイベントとして、10月24日(土)・25日(日)と「秋のスペシャルグリーンオリエンテーリング」を開催しました。自然環境に関するクイズを解きながら緑地に設置されたポイントを回るというものでしたが、2日間で多くの来場者があり、大盛況でした。



カメラを手に パワースポット・ 癒やしスポットへ

事務局

松田町の癒やしスポットが4カ所ありますが、今回はその3カ所を訪ねます。
西平畑公園のカワヅザクラ、寄のロウバイはともに早春の花なので、ちょっと厚着をしてお出かけ。
寄の茶園は秋、きれいに整枝された姿を見ることができました。

▼癒やしスポット No.30

にし ひらはたけ

西平畑公園

【所在地】足柄上郡松田町松田惣領
【最寄駅】JR御殿場線「松田」駅 公園入口 徒歩往復約40分、
小田急線「新松田」駅 公園入口 徒歩往復約50分
【コース概要】西平畑公園MAP等参照
※駐車場は平日無料 土日祝日500円

東名高速道路を西へ向かい大井松田インターを過ぎたところ、眼の前が開け正面に富士山が見えてきます。右の丘の上には白い円筒形の建物。これが西平畑公園にある松田山ハーブガーデンのハーブ館です。

JR松田駅か小田急新松田駅から歩いても行けますが、坂道を登らなければならないのでバスか自家用車を利用するとよいでしょう。「まつだ桜まつり」開催中はJR松田駅からシャトルバスも出ています。東名高速道路を通るたびに気になっていて2月の中旬に行ってみることにしました。

ちょうど早咲きのカワヅザクラが咲いており、遠くから見ると山一面が濃いピンク色。園内に入ると林床には菜の花が咲いていました。サクラのピンクと菜の花の黄色と緑、そして青い空の対比が美しく、見応えがあります。



公園にある松田山ハーブガーデンのハーブ館



早春、公園にはカワヅザクラが咲き、林床を菜の花が彩る

園内を歩いているとサクラの木でキャルキュル鳴く声。メジロですね。サクラの蜜が大好きなメジロにとってはこれだけ多くの花が咲いていると、まるで春の宴のよう。花から花へと飛び回って大騒ぎ。

眼下に松田町の町並みと酒匂川、西には富士山、南には相模湾が見渡せ、眺望も抜群です。松田町はミカンの産地でもあり、この日、地元の方がミカンを売っていました。春以外でもハーブガーデンでは四季折々のハーブを見ることが出来、かわいらしいミニSLも走っていて楽しい散策ができます。でもやはりおすすめはサクラと菜の花の季節ですね。お土産に地元のミカンがいいかもしれません。



カワヅザクラの蜜を吸うのにメジロが大忙し

▼癒やしスポット No.28

やどりき

寄ロウバイ園

【所在地】足柄上郡松田町寄
【最寄駅】JR御殿場線「松田」駅、小田急線「新松田」駅、
富士急湘南バス「寄」行 終点下車 徒歩往復約20分
【コース概要】松田町ロウバイ園案内参照

東名高速道路の大井松田インターから国道246号線に入り、少し東へ戻ると松田町寄へ向かう道があります。谷を縫うように登っていくと寄の集落が見えてきます。さらに先はトラスト会員おなじみの「やどりき水源林」。

今回はそこまでは行かず、途中にある寄自然休養村管理センター前の駐車場に車を置き、東の丘へ徒歩で向かいます。バスの場合はJR松田駅か小田急新松田駅から自然休養村管理センター横の寄バス停で降ります。

ここへ行ったのも2月。西平畑公園のカワヅザクラと同じく早春に咲くロウバイ。息を切らしながらしばらく登ると



眼下に松田の町並みや酒匂川が見える



サクラのピンクを背景に黄色いロウバイが映える

その先にロウバイ園が見えてきました。

このロウバイ園は地元の方々が平成16年に荒廃農地を整備し、平成17年度寄中学校卒業生が250本のロウバイを記念植樹したのが始まりで、現在では約20,000本以上、敷地面積13,000平方メートル以上のロウバイ園になっ

ているとのこと。

園内に入ると甘い香りが漂ってきました。

ロウバイの名前の由来については諸説あるようですが、漢字で蠟梅と書くように半透明でツヤのある花びらがまるで蠟細工のようなためとの説がピッタリです。



ロウバイの花は蠟のような透明感がある

ロウバイ園の奥にはサクラが咲いており、手前の黄色と奥のピンクが重なってきれい。ロウバイの繊細な花を楽しむ散策ができました。

1月から2月には「寄ロウバイまつり」が開かれています。園内のお店では甘酒や豚汁などを売っており、甘酒が冷えた体を温めてくれることでしょう。

♥癒やしスポット No.31

やどりき おおはたけ

寄 大畑茶園

【所在地】足柄上郡松田町寄

【最寄駅】JR御殿場線「松田」駅、小田急線「新松田」駅、富士急湘南バス「中山入口」下車 徒歩往復約20分

【コース概要】寄の茶畑めぐり参照



秋、茶園から色づいた山々を望む



かまぼこ型にきれいに整枝された茶園

2月、ロウバイ園に行く途中、左右に茶園が見えていました。これは今回の癒やしスポットの寄の茶園。その時は通り

過ぎてしまったのでここへは11月に再訪しました。

茶園は秋整枝が終わってかまぼこ型に整えられています。神奈川県多くの茶産地が山間部にあり、日照の少なさ、川からの霧の発生などの条件を備えて高品質な茶が生産されていますが、ここ寄もその一つ。

茶園からは寄の集落、その奥に紅葉の始まった山々が見渡せ、たたずんでいるだけでさわやか。

5月には新芽が芽生え、そこそこでお茶刈りの風景が見られます。

茶園の中に扇風機のようなものが見られますが不思議に思われる方もいらっしゃるのでは。これは防霜ファン。遅霜で新芽が黒くなってしまうことがあり、上空の暖かい空気を茶園に送って霜害を防ぐ装置。この導入によって霜害をかなり防ぐことが出来るようになりました。

静岡県や鹿児島県などお茶の大産地ほど流通は多くはありませんが、ここで採られたお茶に出会ったら是非味わっていただきたいと思います。



本誌では比較的行きやすいパワースポット、癒やしスポットを3回に渡って紹介しましたが、ふだん何気なく通り過ぎてしまった所にも素晴らしい場所があることを再認識しました。それぞれの場所に歴史があり、今の姿に作り上げた先人の努力があったことにも思いをはせながら訪ねると、より豊かな散策ができると感じた取材でした。

皆様も今度晴れた日、そのどこかへ行ってみたいかがでしょうか。



令和2年度 緑化運動・育樹運動コンクール

「緑化運動・育樹運動コンクール」は、緑の募金活動によって行われています。

ポスター原画コンクール

ポスター原画の審査は低学年から順に行います。床一面に並べた作品の間を行ったり来たり、裏を返してコメントを見たりしながら審査します。全体として、小学生では森や緑に人物や顔の表情を描いたもの、中・高校生ではイラスト・アニメタッチで森や緑の大切さや危機感を訴える作品が印象に残りました。(事務局)

最優秀賞 【小学校の部】



「えがおのさくき」

伊勢原市立比々多小学校1年 黒沢 ののかさん
【えがおのさくき】。さがわらっているようにみえたから…。

【講評】風に吹かれ、揺れる木の葉…たくさんの葉っぱが笑っているように見えたのでしょうか。なんて素直な表現でしょう。まっすぐな感性に乾杯です。木に咲いた笑顔から元気をたくさんもらえそうな作品に仕上がりました。ちなみに「山笑う」は春の季節。明るい陽射しに木々の芽吹きが眩しい山の形容です。

最優秀賞 【中学校の部】

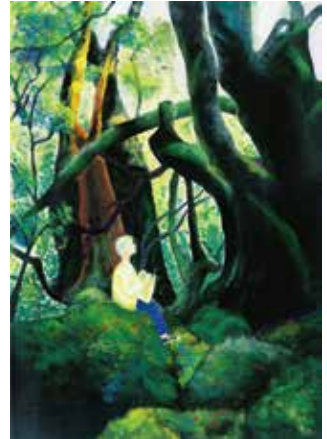


「ぼく達が守るべきもの」

横浜市立西中学校3年 末竹 和波さん
【ぼく達が守るべきもの】。自分たちが生きている地球を自分たち自身が守り育てていくことを伝えたくて…。

【講評】自分たちの存在を双葉に重ね合わせ、一滴の水を受ける双葉が芽生えた地球を二本の手が支えています。背景は双葉が成長した姿でしょうか、大きな木には虫たち生き物が集まっています。芽生えた双葉を守ること、それが今ぼく達にできることと訴えています。

最優秀賞 【高等学校の部】



「未来を描く」

県立白山高等学校1年 工藤 藍菜さん
【未来を描く】。緑の減ってしまっている今、目一杯に緑を描くことで緑が大切だということを伝えたくったから…。

【講評】巨木と苔が作り出す風景は森のファンタジーのようです。長い歴史を生きる大きな生命と、寄り添って生きる小さな生命たち…大樹の幹に腰かけて耳を澄ませていると森の生命が奏でるハーモニーが聴こえてきます。光と陰のコントラストをうまく生かして描かれています。

金賞

【小学校の部】

伊勢原市立大山小学校 6年 関西 凰次朗さん
鎌倉市立深沢小学校 3年 櫻井 らなさん

【中学校の部】

藤沢市立藤ヶ岡中学校 3年 和田 奈菜子さん

【高等学校の部】

県立小田原城北工業高等学校 1年 伊藤 ほのかさん

標語コンクール

全体として、小学生は自分達自身で緑を守りたい想いを子供らしい素直な言葉で表しており、中学生は自分たち以外の周囲をふくめた、広がりのある作品となっています。高校生では、語調や自分に身近な言葉で緑との関わりを表現している作品が見られました。一般の部では、他の部とは年代が異なる分、一線を画した表現が多く寄せられました。(事務局)

最優秀賞 「小さな芽 植えて守ろう 地球の未来」

【小学校の部】

平塚市立松延小学校 4年 小澤 詩音さん

【講評】小さな芽と地球、大小大きさの違う対比をもちいることで、小さな芽が大きな地球へとつながるような流れを感じさせます。また、植えて守るという自身自身の行動から、緑化へ取り組もうとする素直な想いが表れている作品です。

最優秀賞 「つなげよう 未来に続く 緑色」

【中学校の部】

二宮町立二宮中学校 2年 田村 颯波夏さん

【講評】標語でありながら、絵画を思わせるような視覚的なイメージをもたせる文章であり、緑のグラデーションが未来につながっていくような情景が浮かぶ作品です。「つなげよう」という言葉から、過去から今、今から未来へと継承していかなければという、緑の現状への危機感も表現しています。

最優秀賞 「大空へ 育てる緑で 描く夢」

【一般の部】

厚木市 北村 純一さん

【講評】大空を見上げている人の姿をイメージさせる作品です。空へ空へと強く成長する緑と、それに伴って人々の夢が広がっていく、未来への希望を感じさせます。語調が良く簡潔でいて分かりやすい点が評価されました。

金賞

【小学校の部】

秦野市立南が丘小学校 5年 小野 美波さん
秦野市立堀川小学校 5年 吉満 蒼さん

【中学校の部】

二宮町立二宮中学校 2年 野村 歩さん
綾瀬市立綾北中学校 1年 根本 柚希さん
函嶺百合学園中学校 3年 岸田 美桜さん

【高等学校の部】

函嶺百合学園高等学校 2年 浅沼 花南さん

【一般の部】

横浜市 男全 昇さん

ポスターコンクール

銀賞 【小学校の部】愛川町立高峰小4年 齊藤朋花さん・横浜市立さつきが丘小3年 小林悠莉さん・横浜市立白幡小2年 峰島果乃子さん【中学校の部】伊勢原市立山王中2年 関西銀一朗さん・鶴見大学附属中1年 高原明希さん【高等学校の部】県立白山高2年 児玉彩音さん・県立小田原城北工業高3年 石田ももさん

銅賞 【小学校の部】伊勢原市立比々多小5年 川上莉愛さん・同小4年 西川恵人さん・同小1年 石塚大賀さん・横浜市立小机小4年 高原菜穂さん【中学校の部】伊勢原市立成瀬中2年 伊藤優花さん・秦野市立南中2年 中西薫怜さん・横須賀市立常葉中2年 高田菜未さん【高等学校の部】東海大学付属相模高2年 横沢匡俊さん

佳作 【小学校の部】伊勢原市立比々多小1年 下地瑞紀さん・同小4年 宮本琴未さん・伊勢原市立大山小5年 藤ハル紗さん・愛川町立高峰小4年 馬場楓さん・綾瀬市立北の台小5年 小沼煌学さん・大和市立大和小1年 金本宇成さん【中学校の部】横須賀市立常葉中3年 伊藤壮平さん・茅ヶ崎市立円蔵中1年 ウォーカーさくらさん・横浜市立港南台第1中3年 水野琉衣さん・小田原市立酒匂中1年 和田愛海さん・横浜市立東鴨居中3年 古屋来夢さん・秦野市立北中2年 平井結花さん・藤沢市立藤ヶ岡中3年 月見里明加さん・藤沢市立高倉中2年 川島彩乃さん【高等学校の部】県立神奈川工業高2年 木下ナツキさん・同校2年 須藤初美さん・日本大学藤沢高1年 喜多春菜さん・県立小田原城北工業高1年 佐々木修斗さん・県立白山高1年 野澤梨花さん

標語コンクール

銀賞 【小学校の部】平塚市立松延小5年 神保勇歌さん・座間市立相武台東小4年 伊花茉莉さん【中学校の部】二宮町立二宮中2年 池田純さん・川崎市立犬蔵中3年 小池悠斗さん・同校3年 志村優希菜さん【高等学校の部】県立上溝南高2年 小坂美桃さん【一般の部】横浜市 荒井道子さん

銅賞 【小学校の部】座間市立相武台東小5年 横溝さくらさん・同校4年 山本心菜さん・同校6年 下平航輝さん・愛川町立高峰小6年 小林紬さん【中学校の部】川崎市立犬蔵中3年 馬込恋乃さん・二宮町立二宮中2年 小澤育真さん・茅ヶ崎市立鶴が台中3年 根津遼馬さん【高等学校の部】県立上溝南高2年 川村桜詩さん【一般の部】小田原市 大津京子さん

佳作 【小学校の部】座間市立相武台東小2年 石川彩花さん・同校4年 近藤航さん・厚木市立小鮎小5年 加藤嶺阿さん【中学校の部】川崎市立犬蔵中3年 福武江玲奈さん・同校3年 齊藤伊桜里さん・同校3年 岩井潤恵さん・同校3年 島淵世那さん【高等学校の部】県立上溝南高2年 阿部莉紗さん・同校2年 田中理帆さん【一般の部】横浜市 増子かをるさん・座間市 清水隆さん

イベント・ボランティアの参加には**マスク着用**と当日の**検温報告**をお願いします。また、**急な中止・行程変更**がありますことをご承知おください。

2020年度 かながわトラストみどり財団

自然観察&体験イベント

野鳥観察会

2021年
3月13日(土) 9:00~12:30
ハヤブサとカモメたちに会おう
会員 **無料** 【講師】NPO法人 藤沢サンクチュアリ 高橋和也
一般 **2,000円** 【集合】小田急線 片瀬江ノ島駅 改札前9:00
学生 **1,000円** ※双眼鏡持参
15人 受付 2021.1/1~1/31



【コース】片瀬江ノ島駅～弁天橋～西浦海岸～奥津宮～恋人の丘～ヨットハーバー(解散) ●東京2020オリンピック競技会場の江ノ島で野鳥観察を行います。カモメやツグミ、ハヤブサを探しに行きませんか。

【申込先】(公財)かながわトラストみどり財団 〒220-0073 横浜市西区岡野2-12-20
☎ 045-412-2300 ✉ midori@ktm.or.jp 🌐 www.ktm.or.jp

【申込方法】イベント内容をご確認の上、●参加を希望するイベント名 ●参加希望者全員の氏名・住所・電話番号 ●会員の方は会員番号、または一般・学生を明記して、FAX・Eメール・ハガキ・財団WEBサイトにてお申し込みください。【雨天の場合】原則として小雨天決行です。集合場所にて講師がコース変更等を判断します。【持ち物と服装】筆記用具、雨具、水筒、必要に応じて、双眼鏡・帽子、長袖、長ズボン、歩きやすい靴でご参加ください。【お願い】集合時間になりましたら出発します。遅れないようご注意ください。コース内のバス代は各自負担となります。※定員を超える申し込みがあった場合は抽選となり、定員に満たない場合は申し込みを先着順に切りかえて引き続き受付いたします。

2020年度

森林ボランティア

新たに2イベントを追加しました。

【共通事項】 ●神奈川県森林インストラクターが指導します。
●現地に駐車場はありません。

西小磯 大磯町

2021年
2月6日(土) **竹林整備**
予備日: 2/7(日) 50人(先着順) 受付中

【集合】JR東海道線 大磯駅 8:30*
【共催】大磯町
※専用バスで移動 ※自家用車駐車場はありません
【行程】大磯駅(専用バスで移動)⇒現地 ⇒大磯駅



NEW 小竹 小田原市 住宅供給公社有林

2021年
2月11日(木) **竹林整備**
予備日: なし 50人(先着順) 受付中

【集合】JR東海道線 二宮駅北口 8:30
【共催】神奈川県住宅供給公社
※専用バスで移動 ※自家用車駐車場はありません

【行程】二宮駅(専用バスで移動)⇒現地⇒二宮駅



NEW 塚原 南足柄市 塚原水源林

2021年
2月23日(火) **間伐**
予備日: なし 50人(先着順) 受付中

【集合】小田急線 開成駅西口 8:30
※専用バスで移動 ※自家用車駐車場はありません

【行程】開成駅(専用バスで移動)⇒現地⇒開成駅



【申込先】(公財)かながわトラストみどり財団
みどり森林課
☎ 045-412-2255 ☎ 045-412-2300
✉ midori@ktm.or.jp 🌐 www.ktm.or.jp

【申込方法】活動内容をご確認の上、●参加希望日 ●参加希望者全員の氏名(ふりがな)・住所・電話番号 ●森林整備活動登録番号をお持ちの方は登録番号を明記して、ハガキ・電話・FAX・Eメール・財団WEBサイトにてお申し込みください。【雨天の場合】予備日のある場合は延期、ない場合は中止、【実施の可否の確認方法】実施日前日の18時以降に、電話(☎045-412-2255)でご確認ください。録音テープでご案内します。

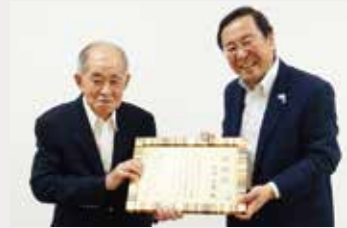
長年の活動に表彰

当財団の事業に長年にわたって貢献いただいた皆様を表彰し、西ヶ谷専務理事より箱根寄木細工で縁取られた特別な木製感謝状を贈呈しました。



水野次郎 様 (写真右)

財団設立当初より理事や評議員、運営協議会の役職を努め、財団事業にご尽力いただきました。



高柳英磨 様 (写真左)

長年、財団理事や三浦半島地区推進協議会会長の役職を努め、財団事業にご尽力いただきました。



(公社)神奈川県宅建物取引業協会
会長 草間時彦 様 (写真左)

令和2年10月27日、宅建協会理事会会場で、募金活動や当財団緑化事業による会館の屋上緑化や、オープンスペースへの緑化などに取り組まれました。

かながわトラスト緑地・ヤマユリ自生地再生

『かなユリ・チャレンジ』 活動報告 2020 12/2 ②

かなユリ・チャレンジの球根返還式を行いました。栽培協力する社会福祉法人進和学園より3年間で立派に成長した球根や、種子から育成させた小球根を自生地再生に取り組む緑地に返還されました。ヤマユリの自生地再生をめざし、引き続きヤマユリの育成と植生環境の整備を行っていきます。



ヤマユリの球根

告知

「やどりきの森へ行こう! 群生するミツマタの開花を観察」

2021年 3月13日(土)

やどりき水源林 (足柄上郡松田町寄)

※少雨決行



【定員】30名(先着順)
【集合】小田急小田原線新松田駅北口に8時30分までにお越しください。
かながわ森林インストラクターがご案内いたします。
※新松田駅～やどりき水源林ゲート間はバス送迎となります。(バス代各自負担:片道620円)
【帰り】現地 14:30発 → 15:10 新松田着

申込締切 3月1日(月)

【問合せ先】公益財団法人かながわトラストみどり財団
みどり森林課 ☎ 045-412-2255

【申込み先】NPO法人かながわ森林インストラクターの会
〒243-0018 厚木市中町2-13-14 サンシャインビル604
E-mail:k-inst0981@friend.ocn.ne.jp

【申込内容】参加者全員のお名前、住所、電話番号を記入し、往復はがき、又はメールで申込。応募の方に後日詳細を記した参加証を送付します。

お便り
紹介



イベントや機関誌「ミドリ」の感想など、お寄せいただいた中から一部を紹介します。

118号ご感想「古民家に暮らすハチたち」「カメラを手にパワースポット、癒しスポットへ」

✉ 里蜂の写真におどろきました。また、カメラを手にパワースポット、癒しスポットへの写真が素敵でした。(小松さまより)

➡ スポットへ行くならスマホやカメラを持っていきたいですね。4月までフォトラリーも開催中なので、ぜひ巡ってみてください。(事務局)

イベントや機関紙「ミドリ」の感想など、皆さまからのお便りをお待ちしています。掲載の方には財団グッズをプレゼントも!

お詫びと訂正

ミドリNo.118の記事に誤りがありました。正しくは以下のとおりです。

5ページ「(公財)かながわトラストみどり財団決算報告」事業活動支出 普及啓発事業 (誤)178,847,120円 (正)25,143,073円

所得税・住民税の優遇措置について

(公財)かながわトラストみどり財団への会費や寄附は確定申告をすることによって、所得税、住民税の還付を受けることができます。ただし、県民税や市町村民税の控除は各自治体によって異なります。なお、控除額の計算はいずれかを選択することができます。

①税額控除(所得税)

① 所得税の減少分

(年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円) × 40%

② 住民税の減少分

県民税(年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円) × 2%

(②の例)：横浜市税

(年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円) × 8%

②所得控除

(年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円)の金額を、その年分の所得から控除するもの。

相続税の非課税 相続された方が相続財産を、相続税の申告期限(亡くなってから10か月)までに寄附された場合は、その寄附額は相続税が非課税となります。

財団事業にご支援をお願いします



県民参加の森林づくり事業

ボランティア参加による森林づくり活動や小中高校生の森林体験学習を行うほか、森林インストラクターの養成及び派遣の支援など、県民の森林への理解や森林づくりの参加を促進する事業。

財団は県内各地において、かながわのナショナル・トラスト運動及び県土緑化運動を行い、自然環境、歴史的環境の保全と緑化の推進を図っています。みどり豊かな神奈川にすることを目的に、これからも活動に取り組むため、財団の事業へご支援をお願いします。



小網代の森の観察会

普及啓発事業

かながわのナショナル・トラスト運動及び県土緑化運動を多くの皆さまに知っていただき、活動に協力していただくための事業。

緑地保全事業

緑地所有者との保存契約を行いトラスト緑地の維持管理活動等を行うほか、小網代の森などトラスト緑地の保全を支援する事業を実施。



箱根小塚山緑地の自然再生活動

地域緑化活動事業

地域の市民団体を支援するほか、地域に根差した活動を行うため地区推進協議会を設置。



みどりの実践団体研修会

緑の募金事業

県内で緑の募金運動を展開し、その募金は学校や公共的な場所の緑化、丹沢への植樹等に活用される。

同封の振込用紙の取扱いについて

- ① 本用紙は「キャンペーン用振込用紙」です。会員会費や緑のグッズ募金の振込には使用しないでください。
- ② 振込の内訳に記載がない場合は、財団事業への寄附とさせていただきます。
- ③ 領収書等礼状の不要、ミドリ等の掲載不要(匿名希望)の方は通信欄にをお願いします。

(公財)かながわトラストみどり財団への寄附金は、所得税・法人税の控除が受けられます

(ご注意)

- この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

この受領書により募金の領収書に代えさせていただきます。

(公財) かながわトラストみどり財団
電話 045-412-2525

収入印紙

課税相当額以上
貼 付

印

この場所には、何も記載しないでください。

02	横浜	払込取扱票		通常払込料金 加入者負担									
口座記号番号				金額									
0	0	2	8	0	2	千	百	十	万	千	百	十	円
						※							
加入者名 公益財団法人かながわトラスみどり財団				料金	備考								
※おとところ 〒 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>				[キャンペーン用振込用紙です ※会費振込はご遠慮ください。] ※寄附金内訳 <input type="checkbox"/> 財団事業(公益目的事業)への寄附 _____ 円 <input type="checkbox"/> 財団運営への寄附 _____ 円 媒体: ミドリ119号									
ご依頼人・通信欄				日附印									
不要な方は <input checked="" type="checkbox"/> (チェック)をお願いします。 <input type="checkbox"/> 領取書等不要 <input type="checkbox"/> 機関誌ミドリ等への名前の掲載不要(匿名希望)													

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)(承認番号横5996号)
 これより下部には何も記入しないでください。

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0	0	2	8	0	2	通常払込 料金加入 者負担	
加入者名	公益財団法人 かながわトラスみどり財団							
金額	千	百	十	万	千	百	十	円
※								
ご依頼人	※おなまえ							
料金	日附印							
備考								

切り取らないでお出してください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

この受領証は、大切に保管してください。

振込には手数料はかかりません。
 ゆうちょ銀行・郵便局の窓口でお振込ください。



**参加者にはもれなくみどりオリジナルグッズを! Wチャンスとして
ペア宿泊券・ペア入場券・ペアランチ券など抽選で賞品をプレゼント!**

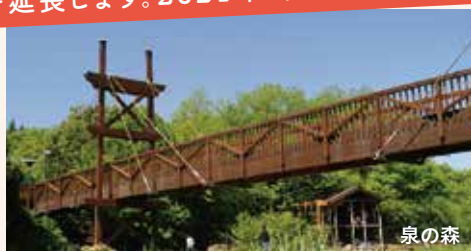
フォトラリーに参加して、スポットの魅力を感じ

かながわのみどりや森林におけるパワースポットや癒やしスポットを巡り、新たなみどりの発見や癒やしの体験を実感してもらうため、「フォトラリー」を開催中です。36スポット中、複数箇所を巡って写真を送っていただいた方にもれなく財団オリジナルグッズをプレゼント。また、抽選でペア宿泊券等、素晴らしい賞品をプレゼントいたします。詳細は財団事務局にお問い合わせください。【☎:045-412-2525】

参加申込を延長します。2021年4月30日まで(消印有効)



大滝沢



泉の森



六国見山



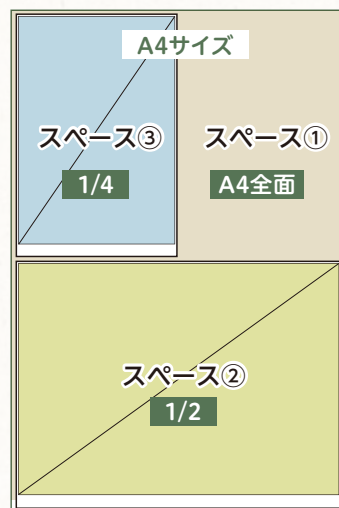
葛葉緑地

財団事業をご支援いただいている法人・団体様を紹介いたします!

法人団体会員など財団事業をご支援いただいている企業・団体様の広告を募集しています。日頃の社会活動をPRする機会としてご利用ください。掲載料は機関紙「ミドリ」の制作費の一部として使用します。

規格及び掲載料		
規格	サイズ(幅×高さ)	掲載料
スペース①	全面広告 (180W×270H)	80,000円
スペース②	1/2広告 (180W×130H)	40,000円
スペース③	1/4広告 (88W×128H)	20,000円

年4回をまとめる場合は、3回分の掲載料でお受けしております



遺贈による寄付について

近年、遺言による寄付について関心が高まっており、これまでに遺贈を受けた新たな公益事業を行っております。遺言の財産受取人として、当財団をご指定いただけます。

相続税の非課税

相続された方が相続財産を、相続税の申告期限(亡くなられてから10ヶ月)までに当財団へ寄附された場合、その寄附額の相続税が非課税となります。

寄附の事例

ご遺言 「県内の緑化活動に役立てて欲しい(緑の募金事業への指定寄附)」

用途▶森林や緑地の維持管理における竹林整備のため竹粉砕機を導入、貸出事業を行っています。竹を割ってそのまま数ミリ程度に粉砕でき、マルチ材や堆肥などに活用できます。



竹粉砕機

ご遺言 「トラスト緑地の保全のために(緑地保全事業への指定寄附)」

用途▶小網代の森等の自然再生活動や環境学習などに活用しています。

